

経済産業省からのご祝辞



経済産業省商務情報政策局長

豊田正和

財団法人ニューメディア開発協会が、ここに創立20周年を迎えられますことを心からお慶び申し上げます。

貴会は、前身の財団法人映像情報システム協会を母体として、昭和59年に改組拡充されて以来、インターネット関連技術やICカード関連技術の開発及び普及促進事業をはじめ、地域情報化の推進のための各種事業や福祉に関連する情報化事業など、今日の高度情報通信社会の実現にあたり先導的役割を担ってこられました。

また、最近では、経済産業省の汎用電子申請システム（ITEM2000）の開発をはじめ、全府省向けのモデルとなり得る業務・システム最適化計画の策定手法（EA手法）の策定や業務・システム体系一覧、電子申請用XML様式の設計ガイドラインの作成など、政府を挙げた電子政府の構築に向けた実証実験や標準の策定にも貢献されてきました。さらに、住民基本台帳カードなどの非接触ICカード関連技術開発や互換性検証業務など、公共分野の情報化の推進に大きな役割を果たしてこられましたことは、森下会長はじめ関係各位のご尽力の賜と深く敬意を表する次第です。

さて、来年は、「e-Japan戦略」の目標である「2005年の世界最先端のIT国家」の実現に向けた最後の年となります。経済産業省としましては、この目標実現のため、政府のアクションプランである「e-Japan重点計画2004」に基づく施策を着実に実行してまいります。

具体的には、先端的な新産業分野の一つである情報家電の普及促進や電子タグの活用、電子政府を支える業務・システムの最適化など、先導的なITの利活用を促進いたします。また、その基盤となるITの安全性・信頼性を強化するための情報セキュリティ対策の強化やソフトウェアの安全性・信頼性の向上を図ります。さらに、これらを支えるIT産業の競争力強化のための技術開発やIT人材の育成等の諸施策を推進し、「e-Japan戦略」の実現を図ることにより、「社会全体が元気で、安心して生活でき、新たな感動を享受できる、これまで以上に便利な社会」の実現を目指してまいります。

このような中で、財団法人ニューメディア開発協会は、便利でスリムで、セキュリティやプライバシーが確保された、より信頼性の高い電子政府・電子自治体、ひいては高度情報化社会を推進するための技術基盤の構築など、我が国のIT産業の国際競争力の強化のため、その役割は益々大きくなるものと期待いたしております。

最後になりますが、創立20周年を契機といたしまして、財団法人ニューメディア開発協会の益々のご発展と会員各位のご活躍を祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。